

2027年度経営学部ビジネス・プロデュース学科
9月総合型選抜課題

公益財団法人情報通信学会コンテンツビジネス研究会(2017)によると、キャラクターは、異なるメディアにまたがり機能する知的財産権(Intellectual Property)でもあり、現在キャラクタービジネス市場は「商品化権」^{注1}と「著作権」^{注2}を合わせた範囲がマーケットとされ、その規模は2兆円を超えると推定される。キャラクターには、「注目誘因」「話題創出」「販売促進」などの効果がある。ごく普通の食器や文具にキャラクターを付けただけで、その実用機能は変わらないのに売上が増える。食品パッケージにキャラクターが載っても味は同じである。

【設問】

キャラクターを活用することにより、売上が向上した商品やサービスの事例を1つ挙げてください。キャラクターを用いたプロモーションを行うことで、競合他社とどのように差別化されているか800字で論じてください。

回答は、①キャラクターの情報、②キャラクターを活用している商品名、③キャラクターを用いたプロモーション方法(例：CM、Web、パッケージ掲載、SNS、LINEスタンプなど)、④キャラクターを活用することにより、企業にとってどのような効果が得られているのか、必ず記載するようにしてください。

注¹ 商品化権＝商品に付帯してキャラクターを使用する権利

注² 著作権＝出版権、広告宣伝への使用権利、ソフトウェアへの使用権利、イメージキャラクターとしての使用権利

参考文献：公益財団法人情報通信学会コンテンツビジネス研究会(2017)「コンテンツビジネスの経営戦略」,中央経済社

【選考日当日】

選考日当日に課題に対するレポート作成を行っていただきます。(800字程度)

試験時間は60分です。